

令和7年度 地域おこし協力隊 事業報告書

美作市総合政策課

目次



鶴谷 晃徳 隊員（令和6年4月～）
受入団体 合同会社アトリエナカウテ
…3



宮脇 令佳 隊員（令和6年4月～）
受入団体 株式会社にまつわるエトセトラ
…22



花房 優 隊員（令和6年9月～）
受入団体 NPO法人山村エンタープライズ
…43



兒山 智美 隊員（令和7年4月～）
受入団体 上山地区自治振興協議会
…62



長谷川 景子 隊員（令和7年8月～）
受入団体 森未来・美作木材協同組合
…79



宮崎 陽 隊員（令和6年4月～）
受入団体 英田スカイブルークラインガルテン
…15



岸本 尚 隊員（令和6年4月～）
受入団体 梶並地区自治振興協議会
…32



北野 真由美 隊員（令和7年4月～）
受入団体 美作みんなの助産院
…53



村山 智美 隊員（令和7年6月～）
受入団体 現代玩具博物館・オルゴール夢館
…70

令和7年度

活動報告書

美作市地域おこし協力隊

受入先 中右手地区 合同会社アトリエナカウテ

鶴谷 晃徳

活動内容

三桎事業承継

地域の活動

ゲストハウス運営

森の展示室

資格取得等

New
右手地域農泊推進協議会

2 年目
総評

業務過多、、、

三桮事業承継



同業者視察、収穫・加工、ほ場整備、新規ほ場開拓

みつまた加工を行う同業者へ訪問

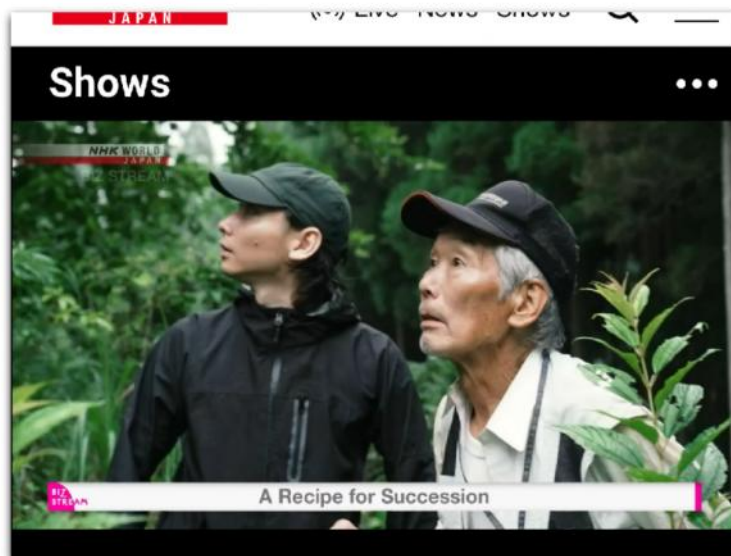
今年度は1月から収穫作業を開始し、昨年度と同程度の収穫、加工を行った

勝田中学校の地域体験の受け入れ

新たな収穫場所の確保

加工作業等を手伝ってくれる人たちとの繋がりの構築

三桮事業承継



三桮事業の取組みの周知

事業承継の取材対応

三桮の加工作業の体験イベントの実施

視察受け入れや問合せの対応

SNS運用



地域の活動



地域の農作業

三桮農家である右手さんの通常期の農作業
畑の苗植え、肥料の散布、誘引、雑草とり等



集落行事への参加等

集落の水源掃除
季節の行事への参加
中右手おもてなし隊が開催する行事

ゲストハウス運営



久米屋の運営サポート

中右手おもてなし隊の一員として久米屋の運営に参加
サウナの火焚き、チェックイン対応
チェックアウト時の清掃作業

森の展示室



森の展示室の実施

イベント実施の企画・運営業務

ワークショップの実施

参加アーティストの作品制作サポート

私自身も演奏作品でアーティストとして参加



資格取得等

技能講習

車両系建設機械（整地等）



農泊推進事業



地域協議会の設立、運営

農政局の交付金を活用した農泊推進事業の開始
右手地域農泊推進協議会の設立
協議会事務局の運営、事務作業



農泊推進事業

地域資源を再考、共有するための研修会の実施
先進地研修
体験コンテンツの開発、体験モニター
協議会の在り方の検討
次年度以降の宿泊施設等の検討

今後の活動予定

実施できなかった活動の達成

ほ場の整備

みつまたの栽培

未利用資源の活用、作品等の制作

農業簿記の勉強、試験

三桮事業承継

ほ場林道の更なる整備

ほ場の土地賃貸借の契約等の整理

収穫、加工の効率化

三桮事業の周知活動

地域の活動

ゲストハウスの運営サポート

農作業

森の展示室

2026年11月に開催（仮）

農泊推進事業

協議会の運営事務

体験コンテンツのさらなる整備

協議会運営に関する研修の実施

ハード事業（宿泊施設）の計画策定、交付金

申請にかかる事務

その他

活動終了後の自立に向けた活動拠点の整備

収入源等の確保



ありがとうございました



地域おこし協力隊 活動報告書

寄商 場

2026年3月吉日

地域おこしとは、 人おこしだった。



背景・定義

その土地に眠っている資源を活かし、地域外の人に魅力や価値を提供することを目指して活動を開始。



活動のテーマ

「大人も子どもも自由に過ごせる場づくり」
「地域のものや季節のものを美味しく楽しく食べられること」



最大の気づき

地域において人ひとりができる役割は非常に小さい。
しかし、人とつながることで“足し算”ではなく“掛け算”のように可能性が広がる。



主な活動内容の紹介



農園のオープンデー

地域の耕作放棄地を活用した農園を開放。収穫体験や土に触れる時間を通じて、季節の移ろいを肌で感じる学びと交流の場を提供しています。



映画の上映会

古民家を利用した小さな上映会。作品選定から地域の人々で行い、鑑賞後に対話が生まれるような、文化的な共感が広がる場をつくっています。



大人も子どもも食堂

地域で採れた季節の食材を使い、世代を超えて食卓を囲む場。単なる食事提供ではなく、「美味しく楽しく食べる」ことを通じたコミュニティづくりの場です。

羊との暮らし



耕作放棄地の活用

羊たちが草を食べることで、荒れた農地の景観を寸り、人と自然が共生する環境を整えています。



癒しと触れ合い

ふわふわの毛並みと穏やかな性格は、子どもから大人まで、訪れる人々の心を和ませるアイドル的存在です。



ウールの自給

刈り取った羊毛を洗い、紡ぎ、編む。暮らしの隅で生まれる羊仕事の喜びと温かさを伝えています。



活動の変化：一人から“掛け算”へ



Step 01

孤独なスタート

最初は一人で行っていた畑作業や体験の受け入れ。地域において一人でできる役割は非常に小さく、限界がありました。



Step 02

サポーターの出現

参加者の中から「手伝うよ」という声。それぞれが得意な役割を担ってくれるようになり、活動に厚みが生まれ始めました。



Step 03

主体性の連鎖

関わってくれる人それぞれに「もっとこうしたい」という思いが湧き、協力者自身が新たな中心となって活動をするこも。足し算ではなく、掛け算のように可能性が拡大しました。

学びと発見：「役割と余白の大切さ」



役割と本領発揮

人は役割を持って動ける場があれば、自然とあるがままの本領を発揮するのだと実感しました。



余白のデザイン

役割をお断りしたり押し付けるのではなく、関われる「余白」を書いておくだけで、人は自ら動き出します。



夢と関わりしろ

夢を描いてそれに向かうことは、自分のためだけでなく、多くの人の関わりしろ（参加の余地）を創ることでした。



「楽しい」が生む輪

楽しいことよりも「楽しい」を意識して活動することで、無理なく自然と多様な声が生まれていきます。

「楽しい」の輪を、もっと広げて。

来年度は、より多くの人に「頼る」ことで、面白い人の掛け合わせを生んでいきたい。
一人ひとりの「やりたい」が重なり合う、温かい場所を作り続けていきます。





令和7年度 活動報告

上山地区 宮脇令佳
受入れ団体
株式会社にまつわるエトセトラ

主な活動 ①集落のこと



●草刈り

●お米作り

(NPO法人英田上山棚田団)

主な活動 ②農体験・ツアーの受け入れ



- 田植えなどの農体験の受け入れ・OPEN DAYの企画
- 体験ツアーやFWの受け入れ
- 田んぼ・畑の草刈り

主な活動③ 棚田サ寮の整備



- GAKKOやツアーなどで使用する古民家の管理
 - DIYでの補修
 - 竹林整備
- 草刈り、家周りの管理

主な活動 ④広報



- 週1回のコラム配信
- パンフレット作成・ロゴ作成
- HPの作成(インターン生と一緒に)
- イベント告知用のチラシの作成

主な活動⑤ GAKKO



- 学生・社会人に向けた里山での暮らしから学ぶ教育プログラムの企画運営
- 対話の場創りや学びを最大化するためのワークショップの実施
- しおりの作成・循環を体感するための動線作り等

GAKKO開催報告



- ・ 2025年3月 学生向け1 week
- ・ 2025年8月 社会人向け1泊2日
- ・ 2025年10月 社会人向け1泊2日・学生向け1 week
- ・ 2025年11月 社会人向け1泊2日
- ・ 2025年12月 社会人向け1泊2日
- ・ 2026年1月 新年会1泊2日

感想 抜粋

- 落ち葉拾いなど「仕事」とは言わない仕事が集落全体の生活を支えていることが一人で生きていくことの難しさを表しつつも、同時に他者と協力することで人間だけではなく、自然（里山）をも含めた自治が生活を豊かにすると気づけた。また、人間の生活が自然環境にプラスの影響を与える暮らしが可能であるとするパーマカルチャーの文化は衝撃を受けた。
- 会社や部署など社会活動の中で直面する組織においても感じることもある積極性の人による温度感や年配の雰囲気上山にも形成されており言葉では言い表しにくい人それぞれのストレスを感じれたのはとても印象に残りました。よくしていきたい人と現状のままでいい人、関わりたくもない人、なんでもいい人そういうそれぞれの感性が入り混ざっておりこのGakkoのプロジェクトがあるからよそ行きの格好で僕らと関わろうとせず、リアルな町の雰囲気を感じれたのは良かったなと思いました。
- 生き方の選択肢が広がった。休みの日に自然をより身近に感じられる場所に行こうと思えた。買い物のとき、袋を断ることができた。
- 日頃の感謝をより感じ、時間を大切にするようになった。太陽を見るようになった

GAKKO 今後

●毎月一回1泊2日で季節の仕事を学ぶGAKKOを開催
学生向けはその日程に合わせて組む(夏・春・希望の日程で開催)

●目標

協力隊最後の1年はGAKKOをサービスとして、より良いものに
向上させること

- ・SNSの集客・コミュニティ形成の動線を作り、継続的に来てもらえるような仕組みづくり
- ・HP制作(3月中に完成)
- ・プレ実施でいただいた改善点やCompathで得た改善点を反映
→運営面・ワークショップや当日のプログラム内容等
- ・GAKKOのしおり作り

課題・来年度注力すること

●滞在環境を整えること【3月～5月・11月～3月】

→寒さ対策・部屋の環境

●個人のつながりで集客しているものを、自動化していくこと
【3月～5月基盤づくり】

→HPやSNSからの動員・コミュニティ形成

●協力隊後の生活を見据えて...【通年】

→農繁期など場所と時間に囚われない+自分の活動に役立つ
WEBデザインの勉強

●食の体験の拡充(畑関連) 【通年】

→毎年お米づくりに手いっぱいになるので...

→長期滞在の仕組みを整えて、受け入れられるようにする(3月・4月)

美作市 地域おこし協力隊 2025年度 活動報告書

梶並地区活性化推進委員会

2026年3月6日

岸本 尚



報告内容一覧



1. はじめに
2. 2025年度の活動概要
3. 各活動の振り返り
4. 2026年度の活動について
5. 定住に向けた活動

1. はじめに

協力隊も2年が過ぎ、出来ていないことも多々ありますが、近隣の方や地域の方、協力隊のおかげで知り合えた方々と今後も繋がっていたいと思う期間でした。

協力隊も最終年となりますが『来る目的のある場所』を創る努力と挑戦は続けたいと思います。

2. 2025年度活動の概要

- ① 梶並地区活性化推進委員会の活動（以下かじかつ）
- ② HP、SNSの運用
- ③ 田舎暮らしセミナー等への参加
- ④ レザークラフト体験会の継続
- ⑤ 出張レザークラフト体験教室

3.各活動の振り返り

① かじかつ活動その1



KAKS

梶並空き家管理サービス

現在6件契約

3件担当

そば事業

種まきから製粉、納品まで

継続納品先2件

- ・道の駅『彩菜茶屋』
- ・そばの細道『やま江』

こんにやく事業

芋の植付から製造、納品まで

継続納品先2件

- ・道の駅『彩菜茶屋』
- ・湯の郷温泉『季譜の里』

かじかつ活動その 2

・かじかつのイベント活動

4月 桜まつり

8月 七夕まつり

10月 兵庫県佐用町【味わいの里三日月】へ視察研修

11月 津山うまいもん商店街

12月 岡山さとまちフェスタ



② HP & SNSの運用

2025年1月～現在 ブログ39件更新

まず問題点として、かじかつの情報や、やまゆり苑の情報発信源として考えていたが、HPやSNSを使える人たちが殆ど居ない。

HPを継続するか否かは、かじかつと話す必要があります。



③ 移住定住セミナーへの参加

2月 春の移住フェアin大阪へ参加

10月 中国・四国もうひとつのふるさと探しフェアin大阪へ参加



④ レザークラフト体験会の継続

2024年8月～

2か月毎に『やまゆり苑』にて開催



2025年 2/4/6/8/10月 開催 (2025年の合計人数140名)

※8月は木工教室とコラボで、かつた市民センターにて開催

※7月には、勝田中学校より依頼があり、1, 2, 3年の計17名が参加

2026年 1月 36名

3月 35名前後予想

⑤ レザークラフト出張体験教室

2025年

9月 勝田市民センターにて社協より依頼 8名 (出張対応)

9月/10月 作東寮より依頼 計23名 (出張対応)

12月 立木サロンより依頼 10名 (出張対応)

2026年

3月 勝田東小学校 出張予定

4月以降 作東公民館 出張予定

真加部サロン 出張予定



4. 2026年の活動について

- ・従来通り、かじかつの活動は続けますが、現在受け持っているKAKSの3件とHP等の管理については引き継ぎを徐々に進めたいと思います
- ・やまゆり苑で開催していたレザークラフト体験会は、2026年11月で終了します。(教室と出張依頼は2026年末まで受付予定です)
- ・8月15日(土)には、作東公民館にて美作市協力隊のイベントを開催
- ・最終年の今期は定住に向けた活動を中心に行います

5. 定住に向けた活動

定住に向け、自宅とは別の店舗又は自宅兼用物件を模索中です。

地元住民の方からも協力を得て情報収集中です。

同時に、みまさか商工会で事業計画書の作成も始めています。

協力隊が終了しても、ワクワクできる地域創りを目指し『来る目的』を創るために、今後も自分のできることを進めていきたいと思っています。



美作市地域おこし協力隊

令和7年度活動報告

花房 優

受け入れ団体

NPO法人
山村エンタープライズ





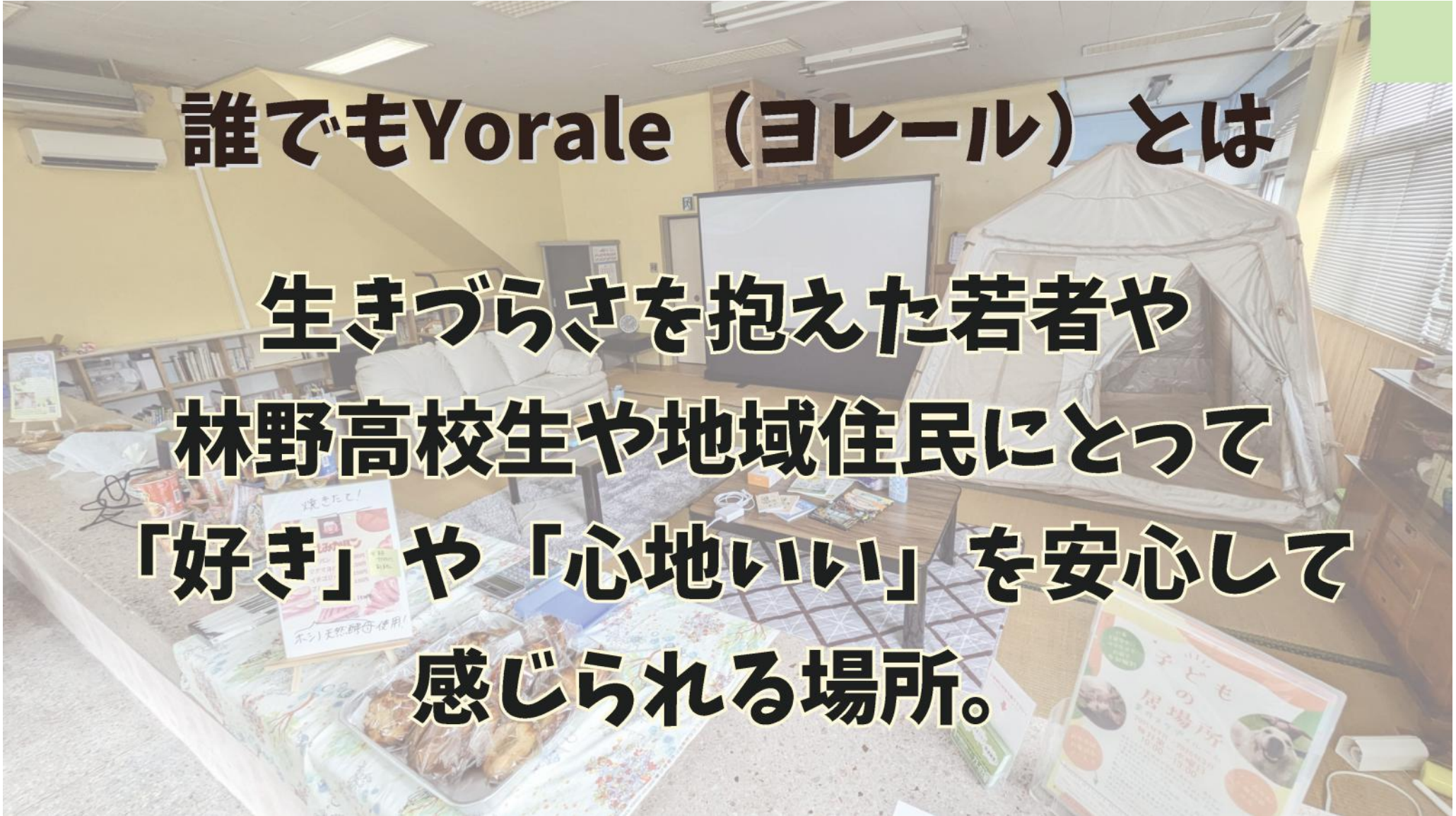
主な活動内容

- 01 シェアハウス入居者・近隣OB支援
- 02 居場所「誰でもYorale」主催
- 03 子ども若者サポート資源DB化



主な活動内容

- 04 月1回の相談会
【家族相談会・お試しキャンプ】
- 05 美作市子ども若者支援者会議参加
- 06 美作市在住家族向け【家族会】
企画・運営



誰でもYorale（ヨレール）とは
生きづらさを抱えた若者や
林野高校生や地域住民にとって
「好き」や「心地いい」を安心して
感じられる場所。

入居者・近隣OBとの交流・支援



レジャー



花の日



ボランティア



イベント

Yorale・地域支援活動



移動販売



定例会議

スクールドッグ



定例会議



その他の活動

子ども若者サポート資源 データベース化

サービス名
人おこし

機関・団体
NPO法人 山村エンタープライズ

概要
若者支援シェアハウス、日中活動のデ
イ利用、宿泊体験、家族相談。

所在地
美作市田殿2921

TEL
0868-73-0020

メール
sanson.asia@gmail.com

Web
<https://hito.sanson.asia>

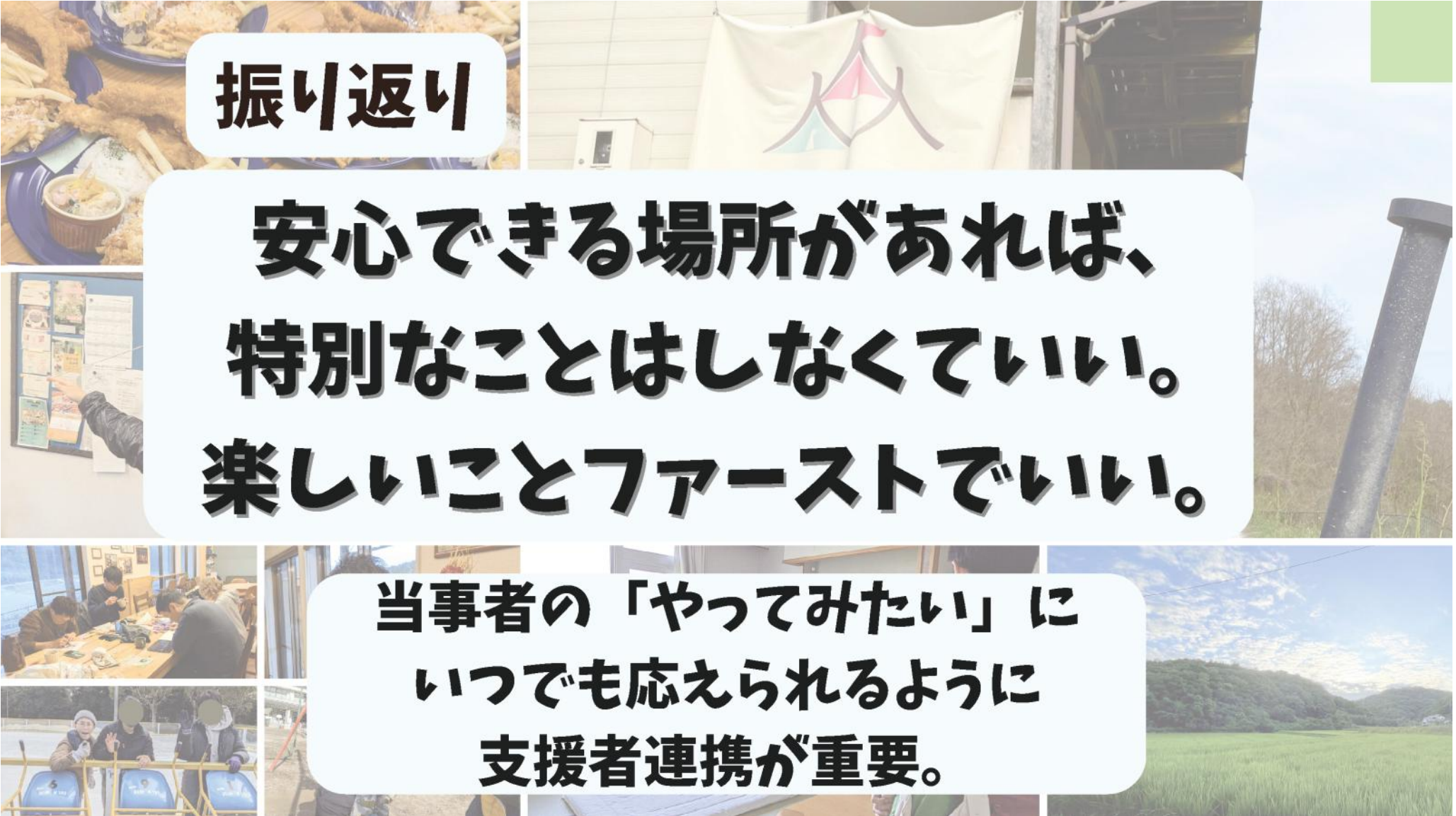


環境整備

地域交流



家族会



振り返り

**安心できる場所があれば、
特別なことはしなくていい。
楽しいことファーストでいい。**

**当事者の「やってみたい」に
いつでも応えられるように
支援者連携が重要。**

今後について

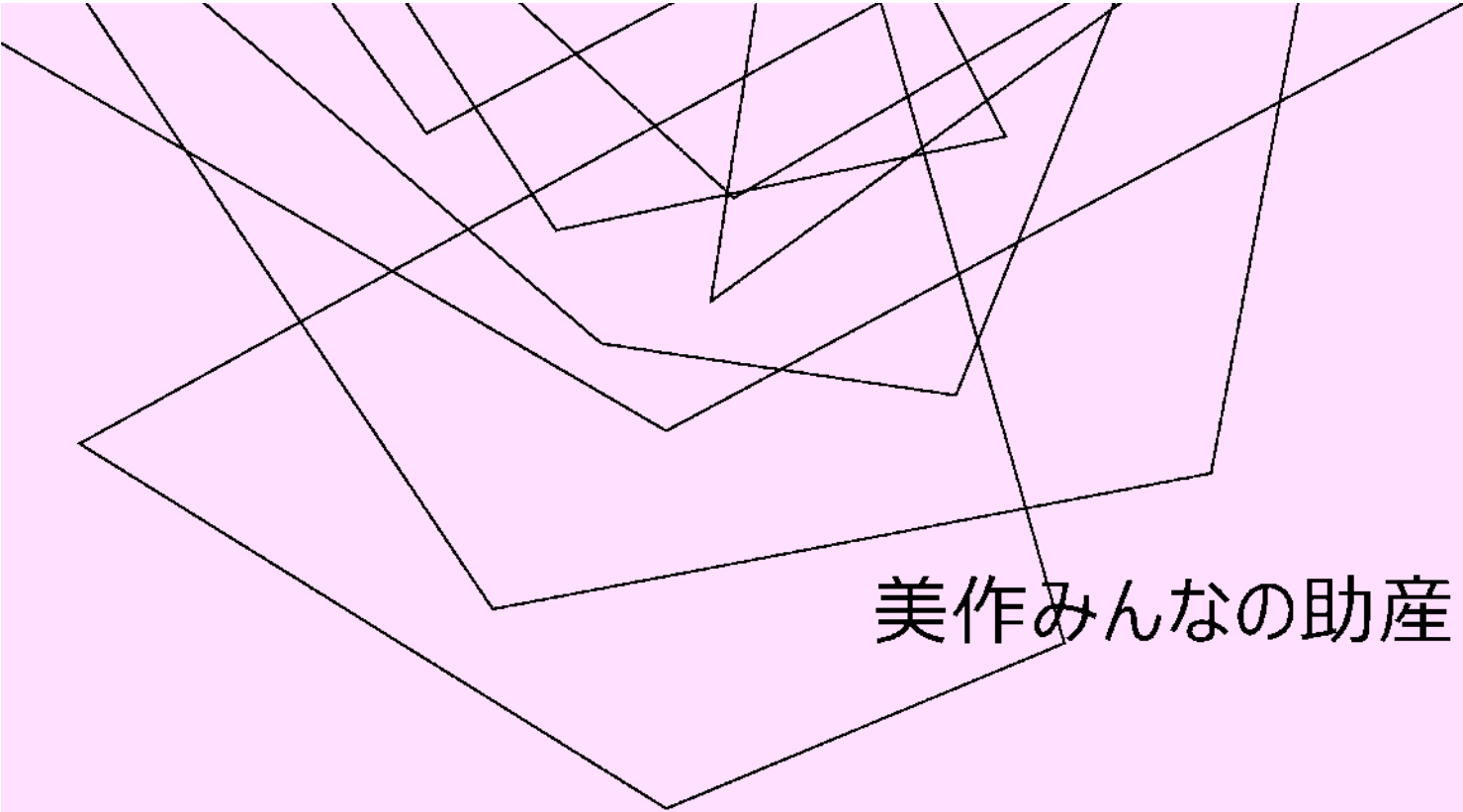
✓ 生きずらさを抱える当事者・家族が
支援に繋がるためのサポート

✓ 広報活動の強化

✓ 人おこしシェアハウス10周年

美作から

全国へ



美作みんなの助産院での活動

地域おこし協力隊 1年目
北野真由美.

活動内容

- 1、助産院での分娩サポート
- 2、妊産婦さんの健康管理・指導
- 3、産褥・新生児の健康管理
- 4、産後ケアサポート
- 5、助産院周知活動
- 6、助産院利用促進活動



1、分娩サポート

着任後から6組の出産をサポートさせていただきました。

母子ともに健康で安全に出産を迎え、終わられるよう院長を支える立場として、活動しております。



2、妊産婦さんの健康管理・指導

病院での妊婦健診に同行し、妊婦の状態を病院と共有し、定期的な助産院での健診時には、ゆっくり話をしたり、胎児の状態をイメージしてもらったり、逆子体操など、必要なケアを提供します。

分娩前になると、体力作りにも励みます。



3、産褥・新生児の健康管理

入院中の食事。
母児の健康を守り、愛着形成を見守る。
安心できる環境づくりを心がけています。



4、産後ケアサポート

助産院で生まれた方々との交流や
他院でご出産された方も利用いただく産後ケア。
実家よりも実家感 との声もいただき、
ゆっくり安心できる場の提供をさせていただいています。

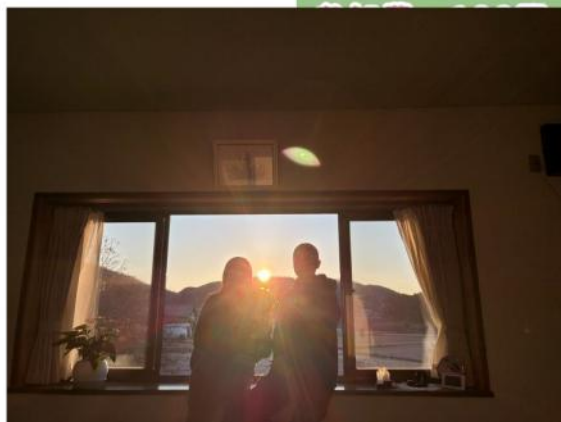
お母さんが安心すると、子どもたちはのびのびと
遊び始めます。

5、助産院周知活動



近隣住民を中心に、
美作市民並びに近隣市町村の住民の方々に
助産院の存在を認知していただく目的で、
イベントを開催しました。

みまチャンネルでの放送も功を奏し、
知っていただける機会となりました。



6、助産院利用促進活動

妊娠・出産に直接関わらない方々も老若男女問わず助産院を利用していただきたい、美作みんなの助産院です。

定期的に座談会やお話会、勉強会などを企画し、より身近な存在となるような活動を広げていきます。

美作市における助産院の展望

県北唯一のお産が出来る助産院

岡山県北において出産できる施設は減少してきており、近隣病院では津山中央病院と赤堀クリニックの2施設となっています。

そのような中で、2年前に美作市にお産が出来る助産院が誕生しました。

安全であることが大前提のお産ですが、安全を優先するあまり、こころとからだに傷を背負うお産もあります。助産院は、医療行為が出来ない分、より安全にお産が出来るように心もからだも準備を整え、本来人が持っている産み育む力と、生まれる力を持っている赤ちゃんを信じ、その力を最大限に発揮できるサポートをしています。医療機関との連携も欠かせません。

幸福な人生を考えたとき、子育ての始まりである出産が幸福であることも重要なポイントだと考えられます。

出産・子育てが継続的に支援出来る環境が整い、子どもたちの笑顔があふれる美作市の一助となるように、美作みんなの助産院が地域に根ざし、なくてはならない存在でありたいと願っています。





令和7年度地域おこし協力隊 事業報告書

上山地区自治振興協議会

兒山 智美

活動内容

- ・ 地域での活動
- ・ 英田上山棚田団での活動
米作り、稲株主様イベント、各イベント出店、上山棚田共育自然学校
拠点整備、草刈り、上山棚田の野菜部、
- ・ 地域拠点での活動
- ・ 資格や専門知識の取得



大芦池かけいで掃除



公会堂での夏祭り



上山神社秋祭り



月一ランチ会



各字ごとの水路掃除 大芦池水落とし
他にも



上山神社夏祈禱



毎週水曜日の囲碁ボール

- ・大芦池の土手草刈り(年二回)
- ・大芦池の点検、整備
- ・上山神社周辺の清掃
- ・英田地域ふるさとまつり上山地区での出店



地域の方とお出かけ(新見、龍野)

英田上山棚田団活動



お米作り

種粃温湯消毒



苗箱づくり

苗箱水やり

- ・ハゼ干し後、脱穀しライスセンターへ持ち込み
- ・乾燥後、粃摺り

田起こし、代掻



肥料撒き



田植え



日々の水管理



稲刈り、ハゼ干し

お米作りは日々の管理はもちろん始まりから終わりまで気が抜けない日々でした。
初めての農機具の操作は緊張しましたが丁寧に先輩方に教えていただきながら挑戦させてもらいました。
お米作り一年目は色々な事に挑戦し楽しむことを目標にしていた中で、しっかり目標は達成できたように思います。
来年度も、この経験をしっかり活かし活動します。

稲株主様イベント

- かけいで掃除
- 田植え
- 草取り
- 稲株主総会
- 稲刈り
- 収穫祭



草取り



収穫祭



ゆのごうマルシェ



うまいもん商店街



さとまちフェスタ

イベント出店・広報活動

- ゆのごうマルシェ
- うまいもん商店街(津山)
- 下津井わくわくマルシェ(児島)
- さとまちフェスタ(表町)
- 米友達(マイフレンズ)岡山、神戸、東京、埼玉、大阪



上山棚田共育自然学校

スマホやゲームから離れ、五感をフルに使って遊ぶ・つながる自然体験



インタープリター研修



火起こし研修

※インタプリターとは

自然や歴史や文化などの案内人。専門的な知識と技術を備えながら、そこに頼ることなく楽しい体験を提供し、それを通じて地域の魅力を伝えて行く



開催

受付後、テントを張り昼食、開催時期に合ったコンテンツを参加者と共に実施

水路ウォーク、沢登り、上山神社への散歩など
夕飯づくり、テント宿泊、朝食づくり、片付け



拠点整備・中山間草刈り・野菜部他

- ・ いちよう庵倉庫、外炊事場設置
- ・ 景観、田んぼ周辺、中山間草刈り
- ・ 上山棚田の野菜部
- ・ にんにく収穫、ガーリックナイト開催



岡山米友達

地域拠点での活動

大芦地区の整備



大芦作戦会議

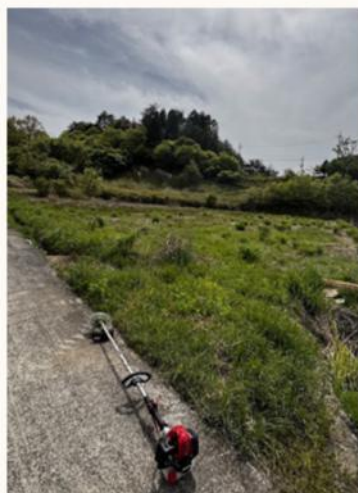


獣害柵設置



お米作り

7



草刈り



草木染め



ガレージ設置



古民家整備



ハゼ竿小屋づくり

資格や専門知識の取得

- ・自然体験活動指導者NEALリーダー取得
- ・エッセンシャルオイルスタイリスト終了しエッセンシャルオイル上級スタイリスト認定



振り返り

この一年は、地域の皆さんに支えられながら多くの経験をさせていただいた時間でした。実際に体を動かしながら地域の暮らしを知ること、棚田を守り維持していくことの大切さを実感しました。また、人と人とがつながる機会にも多く関わることができました。地域の自然や資源の魅力、そしてそこに暮らす人の温かさを改めて感じる一年となりました。

今後について

今後は、この一年で取り組んできた棚田でのお米づくりや農道・水路の整備などの活動を継続し、地域の環境を守る取り組みに引き続き関わっていきたいと考えています。また、地域の自然や暮らしの魅力を地域外の方にも伝える機会を増やしていきたいと思います。地域資源の活用の一つとして身近にある竹を活かしたものづくりや活用方法について学んでいき、竹とアロマの取り組みを模索し任期終了後の事業についても考えていきたいです。

地域の皆さんとの繋がりを大切にしながら、地域資源を活用した活動を広げ、地域を盛り上げていけるよう取り組んでいきます。

令和7年度 活動報告

村山 智美

現代玩具博物館・オルゴール夢館



業務内容

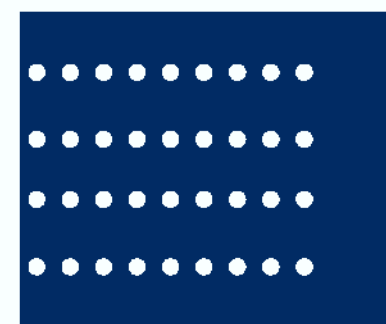
現代玩具博物館・オルゴール夢館スタッフとして
本館と2号館（糸のこ教室、木工室）に勤務

本館業務

入館対応、ショップ対応、商品出し、オルゴールコンサート、
木工イベントの広報用画像・チラシ作成等

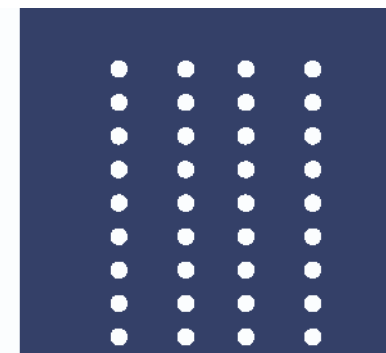
2号館業務

長期休みの工作体験試作・準備、糸のこ教室、
糸のこ教室体験会開催、本館装飾等作成、破損品修理等



令和7年度に主に行ったこと

- 糸のこ習得→糸のこ教室体験会 3回開催
 - 夏、冬の工作体験担当
 - 本館展示棚等作成
 - 本館イベント用看板・什器作成、装飾用文字作成
 - オルゴールコンサート習得
-
- 木工に関する研修参加 4回（うち1回は個人活動）
 - 木工講師としてイベントに参加 1回（個人活動）



● 2号館看板制作



● オルゴールコンサート研修→
コンサートデビュー



● 夏の工作体験
(モバイル回の写真)

● 糸のこ教室体験会1回目



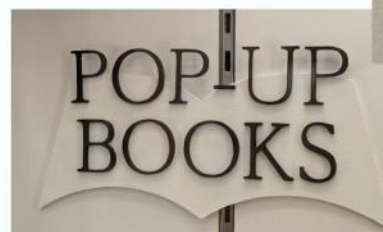
6月着任から10月までの活動内容

糸のこ教室体験会

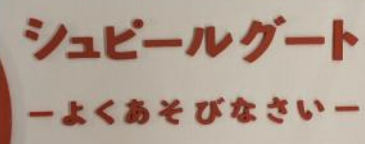
詳細は次頁へ→



● ゲームスペースの
棚制作



● 展示室壁装飾文字
糸のこで制作



11月から現在までの活動内容①



● 糸のこ教室体験2回目



● 糸のこ教室体験3回目



●企画展看板制作



.....●春の工作体験準備中

11月から現在までの活動内容②



▲ 1月 シュリンクポット作り

◀ 11月 ストレートナイフ作り&器挽き



木工研修



本館と2号館の両業務に携わりながら、木工技術の習得と実践の両立に取り組んだ一年でした。

糸のこ技術を学び、体験会を3回開催するまでに至りました。また、夏季・冬季の工作体験では試作や準備を担当し、安全性や作業効率を意識した内容づくりを行いました。

館内環境の整備としては、展示棚や什器、イベント用看板や装飾文字の制作を行い、木工スキルを活かした施設運営への貢献を進めました。

加えて、オルゴールコンサートの習得や広報物制作にも携わり、業務の幅を広げました。

研修への参加や外部での講師経験を通して、学びを実践につなげる姿勢を大切にした一年でした。

業務の中で課題も見えてきたため、来年度は課題を解決できるように努めていきたいと考えております。



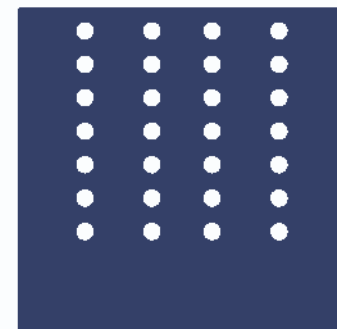
総括

来年度に向けて

- ▶土日の糸のこ教室開催
- ▶おもちゃショー 4月デビュー予定
- ▶インバウンド向けコンサート、おもちゃショー
- ▶おもちゃコンサルタントを取得して魅力の発信
- ▶簡単に制作可能な米館記念品の提案

個人活動として

- ▶自身のクラフトブランド確立
- ▶クラフトフェスへの参加
- ▶創作玩具展への出展を目指す

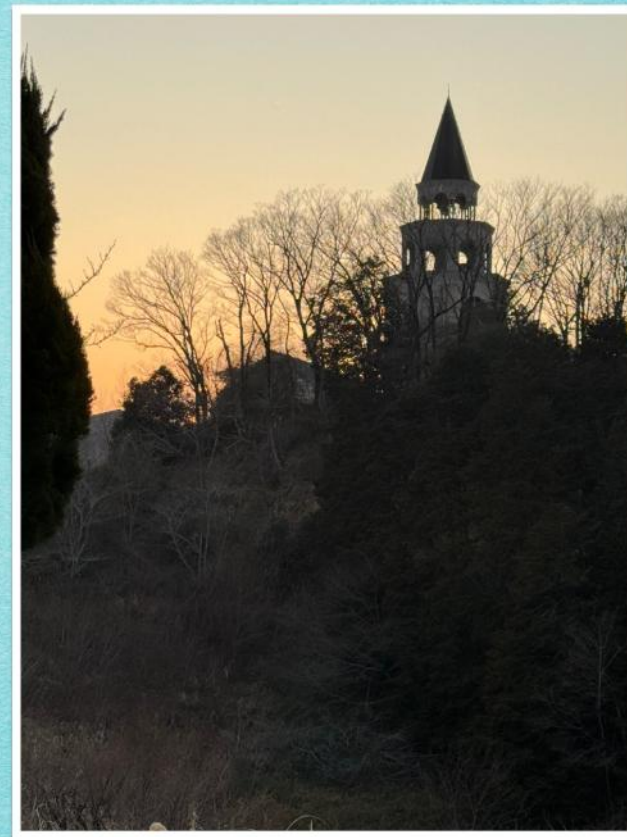


令和7年度 活動報告書

森未来・美作木材協同組合 長谷川景子

森未来・美作木 材協同組合

活動の記録



活動の目的

- ▶ 美作市は豊かな森林資源と美しい自然環境に恵まれた地域です。しかし情報発信がされていないことにより価値が十分に発揮できていない現状があると考えました。
- ▶ 地域の自然資源や暮らし、観光、教育、交流の場へと美作の良さを発信し人と地域を繋ぐ新たな関係性を構築することを目標に持続可能な地域づくりに貢献することとしました。

イベントへの出店・体験の提供

『山の日』クラフト体験や『森林を考えるつどい』への出店を行い木材に実際に触れて作る体験の場を提供しました。来場者が木材に触れ身近に感じてもらうことができ、自然と会話が生まれる場となりました。体験を通した発信は森林や林業への関心を高める有効な方法であると感じました。



ワークショップ・フォーラムへの参加

地域の強みを再発見する観光WSやものづくりのフォーラムに加えノッティング制作、盆栽の植え替え、ペーパーコードスツール制作など暮らしに木材との関わりが深いWSにも参加しました。任期満了後も事業化の可能性を探る目的も含めた取り組みです。参加者の反応や運営方法など多くの実践的な気づきがありました。



観光分野との連携・コラボ

観光に関するWSでグループワークの際
ご一緒した企業様（旅館）に対して森未
来が制作したヒノキの商品を見て頂いた
ことをきっかけに宿泊されるお客様に対
して『木育』を取り入れたWS企画を旅
館内で実施していただく取り組みに繋が
りました。



研修・セミナーへの参加

▶ 林業経営、岡山県農林水産総合センター森林研究所の集合研修、DX/ITツール活用セミナー等に参加し、林業や地域産業を取り巻く現状や課題について理解を深めました。持続可能な取り組みを進めるためには技術だけではなく、人材育成や仕組みづくりが重要だということを学びました。



田舎暮らし体験の受け入れ・コーディネート ト

▶ 田舎での暮らしに興味を持つ県外の方を対象に、自宅古民家を活用した受け入れを行いました。実際の生活についての体験談を伝えたり、畑でゆずの収穫を一緒に行ったりすることで、日常の暮らしを体験していただく取り組みです。これまでに5組10名の方にお越しいただきそのうち1名が移住へと繋がりました。暮らしの実感を共有することは移住を具体的に考える大きなきっかけになると感じました。



今後の課題と改善点

- ▶ 活動の様子や魅力を特にWeb上で十分に発揮できていない点は今後の大きな課題です。継続的な更新や内容の整理が十分に行えておらず活動の広がりや認知度向上に繋がきれてない状況です。
- ▶ 今後は、イベントや体験、田舎暮らしの様子などを写真や短い文章でセンス良く発信し、活動の『見える化』を進めていく必要があると考えています。合わせて、個人の発信と紐付けし地域の魅力や日々の暮らしがより伝わる情報発信を行い美作市に関心を持つ人との新たな繋がりを生み出していきたいと考えています。